

皆様のご家庭ではどうでしょうか？（5月20日付 神戸新聞より）

芦屋市教委が行った携帯電話使用に関する調査結果です。なかなか興味深いと思います。紹介します。

芦屋市教委、児童生徒と保護者1万人調査

小中学生の携帯電話使用状況 親の認識実態とズレ

3/20 神戸 メール、ゲームの割合高く

最近では小学校低学年から持ち始めるという携帯電話。親たちが思う利用方法と、子どもが使用している実態が異なっていることが、芦屋市教育委員会の調査で分かった。

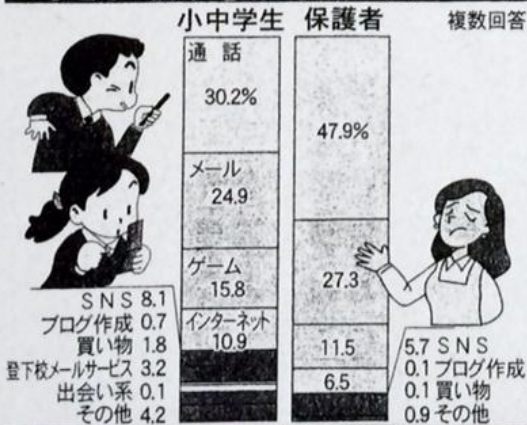
調査は携帯電話やインターネットの利用状況をj知るため、2月3日、市内の全小中学生と保護者計約1万2500人を対象に実施し、約1万人から回答を得た。

調査によると、携帯電話を持っていると答えたのは小学1〜3年生で60%、4〜6年生が72%、中学生が67%。文部科学省が実施した2009年の全国調査の平均を小学生で43%

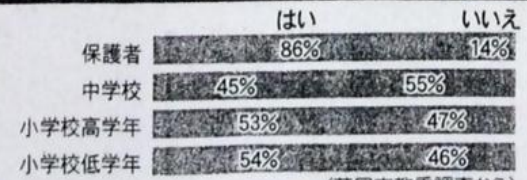
SNS 高学年ほど利用増

と続く。しかし、小中学生の利用実態をみると、通話は30%程度。メール(25%)やゲーム(16%)の割合が高く、LINE(ライン)やフェイスブックなどのソーシャル・ネットワーク・キング・サービス(SNS)を利用している子どもは8%いた。高学年になるほどこの傾向は強く出ており、中学生でSNSを利用している

子どもの携帯電話の使用方法は



家で携帯電話のルールを決めている？



(芦屋市教委調査から)

分の1近くに上った。また、小学校低学年で携帯電話を利用して買い物をしたという回答が50人、出会い系サイトを利用しているという中学生も10人いた。

インターネットを使ってトラブルについては、延べ101人が経験した」と回答。小学生でゲームの課金をしてしまったケースや、悪口を書き込まれたケースなどが目立っている。

携帯電話をめぐる使用のルールについても質問。使用時間などを決めていると答えた親は86%いたが、小・中学生で「ルールがある」と答えたのは半数程度で、「(ネットを)5時間継続して利用する。」

同市教委は「急速な情報化が進む中、携帯電話は子どもたちの必須アイテムになりつつある。調査の結果は今後の情報教育に生かしていきたい」としている。